

きらめき NEWS

VOL. 13 (2025. 6)

○資格取得のきっかけ

アフリカのザンビアで青年海外協力隊として活動後、国際NGOとして途上国支援を行っている公益財団法人オイスカへ就職しました。最初は研修業務を



柿沼 瑞穂さん

当財団では、地域の様々な課題に取り組む県民活動団体を支援していますが、団体から、「継続して活動を行うため、資金をどのように工面していくかが課題」だとよく耳にします。
そこで、団体の「資金調達」について、日本ファンドレイジング協会認定ファンドレイザーとして、また子ども食堂や日本語教室の運営など、様々な地域活動を実践されている柿沼瑞穂さんにお話を伺いました。

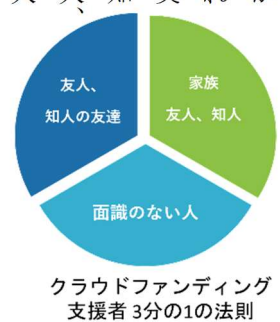
資金調達は自分たちの分析・把握とコミュニケーションから

していましたが、寄付を募ったり、会員を獲得したりする部署へ異動しました。新しい業務では自分なりに頑張り支援を集めることはできましたが、一人がむしゃらにやったところで限界があることに気付きました。そのため、経営資源の獲得を体系的に学ぶファンドレイジングスクールに参加したのがスタートです。
資格取得後は、学んだことを実践し、経験値が少しずつ高まってきたと思います。最近では、資金調達に関する相談を受けたり、講師としてクラウドファンディングなどの話をさせていただく機会が増えています。

○団体の主な財源

団体の資金調達には、寄付、会費、助成金、委託金、事業収入、融資・投資の6つの財源があると言われています。
まず、安定的に資金を得られ、活動を支援してもらえるのが会費です。
寄付には、対面でのお願いやクラウドファンディングを使う方法があります。クラウドファンディングで、不特定多数

の人から寄付が集まると思われていますが、実際は、家族・知人、知人の知人、見ず知らずの人が3分の1ずつ応援してくれているという法則があります。見ず知らずの人に応援してもらうには、関心を持つてもらえるように広報をマメにするなど日頃の活動が重要であると伝えていきます。
また、寄付や会費を増やすうえで共通して言えることは、自ら動いてお願いすることが大切だということです。行動をしないことには、会費も寄付も集まりません。自分から一歩踏み出すことは難しいし勇気がいるかもしれませんが、「寄付をお願いします」と声をあげることからやってみてほしいと思います。
それから、助成金を活用することも、活動をする上では重要です。ただ、助成金は安定した財源にはならないので、活動をステップアップするなど必要な時に使うことが大切です。助成金を上手く活用できるようになったら、次の段階の委託金や事業収入につながるといいます。



県民活動推進委員リレーコラム Vol.10

平井 洋子さん
(田布施よさこい同好会：田布施町)

「踊りで元気の出前を！」

町制合併50年記念として、田布施音頭と田布施町歌を合わせてアレンジした曲「よさこい田布施音頭」が作られました。この曲に合わせた踊りを、第34回たぶせ桜まつり（平成16年）の町民総踊りで鳴子を持って踊ったのが活動の始まりです。

この曲に合わせた踊りを、まつりだけで終わらせたくなく、また私たちが楽しむだけでなく、踊り隊を作り施設慰問（元気の出前）をしたら良いのではという思いで呼びかけ集まった人々が、田布施よさこい同好会「咲くら連」です。

発足から20年、町内外の施設やイベントなど色々な場面で元気が出る踊りを披露しました。



将来、「よさこい田布施音頭」が流れたら、誰もが踊れるような故郷の曲になればいいなと思い、数年前から、放課後子ども教室で小学生によさこいを教えています。故郷、田布施の曲と踊りを地域の大人と一緒に楽しんでいます。

昨年、柳井市で他団体との出会いがあり、歌や踊りを作って祭りを盛り上げるという企画を皆で考え、実現しました。誰もがすぐに踊れる振付を考え、4月の祭りで披露しました。途中ちょっと間違えたけれど、全員が一緒に踊って楽しんでもうございました。来年も踊ってほしいと思います。



財団イベントスケジュール

開催日	イベント名	主催者	会場
10/25(土)~26(日)	「きららでキラリ！県民つながるフェスタ」	やまぐち県民活動促進実行委員会	山口きらら博記念公園
11/22(土)	「家族みんなの集い（仮）」	実行委員会・岩国市・財団	岩国市民文化会館

(秋吉台国際芸術村)

開催日	イベント名	料金	時間
6/14(土)	「秋吉台映画村 Vol.16 『FLY!/フライ!』」	一般500円	13:30~
8/31(日)	「坂本龍一が見た風景」	一般2,000円、学生1,000円	14:00~

令和7年度 助成金申請団体を募集中

○繋がるネットワークづくり推進協働企画事業 締切：6月30日（月）

活動団体が企業や他団体等と協働して取り組む企画を支援

対象企画	団体が他団体や企業等と繋がり、協働して取り組むことにより活動の輪が広がる企画
助成額	20万円以内/年
助成率	対象経費の10/10以内

○若者チャレンジ応援助成金(後期) 締切：7月31日（木）

若者が中心となって取り組む県民活動を支援

対象団体	若者（18歳～30歳）が過半数を占め、中心となって活動を行っている団体
助成額	20万円以内/年
助成率	対象経費の10/10以内

発行

“男女が共同して参画し、文化が薫り、県民活動が広がる”
公益財団法人 **山口きらめき財団**

〒753-0021
山口市桜島三丁目2-1 山口県宮野庁舎2階
TEL 083-929-3600 FAX 083-924-9096
メール info@y-kirameki.or.jp



令和7年度山口きらめき財団助成金交付式

当財団では、本県の県民活動を支援するため、地域の課題解決や団体の自立を支援する「きらめき活動助成事業」に加え、今年度から新たに将来を担う若者による県民活動を応援する「若者チャレンジ応援事業」を実施することとしています。

令和7年度は両事業合わせて42団体の助成を決定し、5月29日に助成金交付式を防長苑（山口市）で開催しました。



当日は、御出席いただいた36団体の代表の方に村岡理事長から交付決定書が手交され、「新たに県民活動に取り組む団体や、一層の飛躍を目指す団体のモデルとなるよう活躍を期待しています」とエールが送られました。

また、交付団体を代表して、周東古代ハスの会（岩国市）の会長 南谷多賀男さん（右写真）が、「夢あふれるミッションに向かって事業を実施し、活力ある地域づくりの実現に全力で取り組みます」と決意表明をされました。



交付団体一覧

きらめき活動助成金

○自立支援「ゆめ」プログラム

団体名（代表者名）	所在地
食糧配布チームモッタイキーネ（大下 篤子）	下関市
スマホ社会を考える会（金原 洋治）	下関市
ナメクジウォ環境クラブ（児玉 純子）	山口市
愛着子育てサポートの会（佐々木 澄江）	萩市
STAND Still 山口（野口 麻衣子）	防府市
藤川章造顕彰会（田頭 よしたか）	防府市
向山紅葉隊（小林 孝二）	光市
スマイルプランミュージック（寄本 和美）	山陽小野田市
ブラジル文化交流会（熊谷 たえこ）	山陽小野田市

○課題解決支援「はな」プログラム

団体名（代表者名）	所在地
（一社）多言語図書館（新田 隆充）	下関市
夾竹桃の会（金子 達昭）	下関市
高齢社会をよくする下関女性の会ホーモイ（田中 隆子）	下関市
下関空襲・終戦展実行委員会（瀬谷 由美子）	下関市
Mint（柴田 久美）	下関市

団体名（代表者名）	所在地
NPO 法人 IRIS（濱田 剛士）	宇部市
うべ交通まちづくり市民会議（村上 ひとみ）	宇部市
宇部自然保護協会（福場 達朗）	宇部市
（一社）SDGs てらす（久保田 后子）	宇部市
CAP 西京（藤田 房子）	山口市
徳地人形浄瑠璃保存会（池田 大乗）	山口市
NPO 法人山口せわやきネットワーク（児玉 頼幸）	山口市
ハッピークローバー（長谷 英治）	萩市
ボランティア団体スノーブレンを楽しむ会（山根 文夫）	防府市
日立のぞみ会（永田 久則）	下松市
NPO 法人フリースペースコティ（楠 恭子）	下松市
愛宕まちづくり協議会（越澤 法男）	岩国市
いわくに竹の会（佐古 雅子）	岩国市
いわくにだれでもジェンベ（藤田 陽子）	岩国市
子育てサポートにじのわ（小原 夕依）	岩国市

団体名（代表者名）	所在地
周東古代ハスの会（南谷 多賀男）	岩国市
いぬいとみこの会（桑原 眞）	柳井市
seeds（西本 利治）	柳井市
ふるさと維新YYプロジェクト（山本 恭兵）	柳井市
NPO 法人しゅうなんまちなか保健室（小野 薫）	周南市
ふれあいの森なんでも工房（村田 真博）	周南市
難病サポート familia やまぐち（岩屋 紀子）	山陽小野田市
山口 DARC（渡慶次 稔）	山陽小野田市
（一社）七福（松村 瞳）	田布施町
ヤッチャレ田んぼ（松永 里佳）	平生町

若者チャレンジ応援事業助成金

団体名（代表者名）	所在地
学生団体フリーキャンパス（津村 一輝）	下関市
NPO 法人 OKAI CLUB（岡井 理香）	周南市
平和志向のまちづくりの会（永田 典集）	周南市

活動をするうえで資金調達だけでは良いという訳ではなく、まずは組織と事業がしっかりしていないとはいけません。財源・組織・事業は三位一体で、一つでも欠けたら上手くいきません。

○クラウドファンディングの事例



私がクラウドファンディングを達成した事例の一つが「大阪マラソンのチャリテイランナー」です。チャリテイランナー希望者は、寄付先団体一覧から応援したい団体を1団体選択して申し込みます。そして、指定サイトに、選択した団体への寄付を募るペー지를独自に作成し、目標寄付金額（最低7万円）を定めて、期限までにSNSを活用しながら寄付の募集をします。7万円以上の寄付を集めればチャリテイランナーとして出走でき、専用のTシャツを着れるなど、色々な特典があります。この時は、東日本大震災の復興を行う団体の応援を選び、777人のランナーの中で一番多くの寄付金を集めて、ベス

トチャリテイランナー賞を受賞しました。

また、「こどものための日本語教室年間サポーター100人プロジェクト」で支援を募りました。これは、外国にルーツを持つ子どもたちのための日本語教室への支援で、目標を超える方々がサポーターになってくれました。目標値を明確にすることで、応援する側も、応援をお願いする側も、やる気ができます。

クラウドファンディングは、事前準備がとてとても大切です。まず、目標金額と募集期間を決め、応援してくれた人へのリターン（お返し）を考え、寄付を募るサイトを準備します。そして、プロジェクトを応援してもらうためにSNSなどを活用して情報発信を行います。

クラウドファンディングは、プロジェクトの魅力だけでなく、自分たちの日々の活動を伝えるチャンスでもあります。自分たちの活動への理解を軸に、共感の輪を広げる仲間づくりに繋がるので、エネルギーとスタミナが必要です。

○資金調達はコミュニケーションから

団体から、寄付による資金調達を始めたという声はよく聞きますが、一方で具体的にどれだけのお金が必要なのか

分かっている方が多いです。

まず、何を目的に活動をしているのか、目指しているところはどこかなど、役員など主要メンバーで共通認識することが必要です。団体の多くが、目的や活動内容などを他者比較していないので、自分たちの強みや弱みを分かっている。また、現在の社会の動き、話題となっていることなどが自分たちの活動と合致しているかどうかということに気づいていないことが多いので、自分たちのことを分析して把握しておくことが大切です。そうすれば、やりたいことを明確にアピールすることができ、自分たちに適した資金調達方法を見つけることができます。

どのような方法を活用して活動を応援してもらうにも、コミュニケーションを大切にすることが重要です。応援してくれる人たちと良好なコミュニケーションが築ければ、今後の活動につながっていくと思います。

